

## 令和5年度「熊野町総合教育会議」会議録

日時 令和5年5月8日（月）午後2時30分～午後3時25分

場所 熊野町役場 3階303会議室

出席者 三村町長

平岡教育長、大竹委員、佛圓（悦）委員、佛圓（弘）委員、久保田委員

事務局 西村総務部長、西岡総務部次長

隼田教育部長、立花教育部次長、穂坂町公民館長、梶教育指導監、南崎課長補佐、高木主査

### 次第

- 1 開会
- 2 熊野町長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 令和4年度 教育部の主要事業について
  - (2) 令和4年度における児童生徒の状況について
  - (3) 令和5年度 教育部の主要事業について
  - (4) その他
- 4 閉会

### 議事概要

#### (1) 令和4年度 教育部の主要事業について

事務局から内容説明

##### 主な質疑

- 特になし

#### (2) 令和4年度における児童生徒の状況について

事務局から内容説明

##### 主な質疑

- 学力調査の結果と生徒指導との関連、その分析・検証について

【委員】学力状況や生徒指導上の数字について説明があったが、この分析・検証は各学校で行っているのか。または、分析・検証する部署や会議などがあるか。

（教育委員会）基本的には各学校で分析・検証を行っており、各学校が分析したデータや課題を持ち寄って協議をする機会として、学力向上推進協議会を設け、教育委員会としても指導・助言を行っている。生徒指導については、月例報告により学校と随時連携を図るとともに、小学校・中学校・熊野高校に海田警察にも参加いただき、月一度のペースで生徒指導推進協議会を開催しており、その中で、各学校の状況について意見交換をしている。

【町長】暴力行為が小中学校で発生しているが、傷害のような事案もあるか。

（教育委員会）中学校では力も強くなり、程度によってはケガをすることもある。

【委員】生徒指導上の課題がなかなか収まらないというのは、コロナ禍でのストレスが起因していることも考えられるか。

（教育委員会）コロナ禍で学校行事の縮小や部活動の中止などで思うような活動ができていないこともあり、子供たちも我慢をしたりストレスがかかっていることは考えられる。

【委員】学力調査についての資料に過去の結果と比較すると正答率が下がっているとあり、数値的には気になるところである。これまでも、学力・生徒指導それぞれ協議会等で改善が図られていると思うが、学習面と生徒指導面の相関については分析されているか。

(教育委員会) 学力と生徒指導は表裏一体のため相関の関係にあると考えており、子供たちが落ち着いていれば学びの質が上がり、力がついてくると考えている。

【委員】発生した問題行動について、日々の家庭や学校での基本的な生活習慣や学習規律との相関は分析されているか。

(教育委員会) 学習や発言の仕方などの学習規律については各学校で十分に指導を行っているが、問題行動と学習規律の乱れとの相関は分析できていない。

【委員】学力の定着は、学校での学習規律に加え、家庭での学習や生活の状況が大きな部分を占めるのではないかと思う。学校だけではなく家庭を巻き込んだ取り組みができればよいと感じた。

(教育委員会) 家庭との連携は不可欠と考えている。学校が子供たちに対して取り組んでいることについて家庭でも共有していただき、共に進んでくることが重要となる。コロナ禍で保護者が学校に来る機会が少なくなっていたため、今後連携を深めるとともに、家庭での学習にタブレットを活用することにも取り組んでいきたい。

○ 広島県の研究指定事業について

【委員】それぞれの中学校区で広島県の研究指定事業に取り組まれているが、この研究事業はある程度テーマが選択できるようなものか。

(教育委員会) 広島県教育委員会が大枠を決めて、細かい部分は地域の取組が尊重されるものである。

(3) 令和5年度 教育部の主要事業について

事務局から内容説明

**主な質疑**

○ 特になし

(4) その他

**主な質疑**

○ 音楽文化の振興について

【委員】立派なピアノを町民会館にご寄附いただいたことに感謝したい。このピアノを中心に、町の音楽文化がさらに発展することを願っている。

○ 新型コロナウイルス感染症への対応（マスク着用等）について

【委員】新型コロナウイルスが本日から感染症法上の5類へ移行し、子供たちもコロナ禍前のように元気よく友だちとコミュニケーションを取り、遊び学び、積極的に人と交流することを願っている。

【町長】マスクの着用も緩和されているが、学校でのマスクの状況はどうか。

(教育委員会) マスクを外している子供は、全体の半分ないくらいの状況である。

【委員】小学校の式典に出席した際、マスクを外すことをアナウンスしていたように思うが、学校での対応はどうか。

(教育委員会) 卒業式では、小学校4校でマスクを外す場面をあらかじめ決めていたが、強制はしていない。場面ごとの対応になると思われるが、子供たち個人の判断が基本になると考えている。

【委員】マスクもこれから徐々に外すことになると思うため、大人が率先して外すことで、子供たちがマスクを外しやすい環境を作っていくことが大切と感じている。

○ Society5.0時代のデジタル活用について

【委員】資料3-1にデジタル活用の部分があったが、働き方改革の側面に加え、児童生徒と向き合える時間を作ることに収れんすると思っている。不登校の児童生徒が増えていることは町としても懸案事項と思われるため、タブレットを不登校児童生徒の支援に活用し、個別最適な学びの手助けになればよいと感じた。

○ 「ふるさと教育」、コミュニティ・スクールの取組について

【委員】議題2と3に関わってのお願いになるが、町の教育施策として「ふるさと教育」を基軸にしていることは、定住促進にもつながると考えられ、ぜひ継続していただきたい。ふるさとの担い手をしっかり育てていくことは今後も力を入れるべきことで、その一つとしてコミュニティ・スクールがあってほしい。

(教育委員会) コミュニティ・スクールの取組を進める中で、子供たちが地域のことを知らないと感じられず誇りが持てないため、地域のことを学ぶことが大事と考えている。地域のことを学ぶ『ふるさと教育』の発信の機会として、今後、三重県熊野市の小学校と交流することとなっている。オンラインでの発表交流の様子を、ぜひ町長にもご覧いただきたい。また、今年度はコミュニティ・スクール運営協議会委員の研修を行ったり、先進地視察を行ったりすることを考えている。

○ 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取組について

【委員】全国学力・学習状況調査の結果からは算数と数学が心配と感ずるため、小学校と中学校の接続も意識した授業改善に取り組むような、具体的な一歩を進める必要があると感じる。そのため、県の指定事業でテーマを決めることができるのであれば、児童生徒の課題に即したテーマ設定ができればよいのではないかと。

(教育委員会) 全国学力・学習状況調査において、算数と数学の数値が低下していることについては課題と感じており、ご提案も踏まえ、テコ入れの必要があると感じている。今年度の授業研究では、改善に向けた取組を進めていきたい。

【町長】5年前の豪雨災害以降、学力が下がっていることを懸念している。かつては中学校で1位が続いていたが、近年はそういったことがないため、今後の取組をお願いするとともに期待をしている。

○ (仮称) 筆の里創造の丘公園の運営・活用について

【委員】(仮称) 筆の里創造の丘公園について、子供の意見を吸い上げる意味で、熊野高校の生徒が小中学校のクラブ指導支援サポーターのような形で、ここを舞台にして活躍できればよいのではないかと。町として子供の意見を取り入れる姿勢を見せることも大事ではないかと考えている。

(教育委員会) (仮称) 筆の里創造の丘公苑の運営・活用について、熊野高校に加え、小中学生がどのように関わっていくのかというところで、教育委員会としてもその運営・活用に関わっていければありがたいと考えている。

【町長】今準備をしている町民夏祭りの協議には、町の事業がどういったプロセスで出来上がるかを学びたいとの申し出があったため、熊野高校の生徒にも参加してもらっている。創造の丘公苑については、これまでも様々なイベントで熊野高校の生徒に参加してもらっているため、今後の拡充も考えていきたい。また、この度のプロジェクトは、基本的には観光振興の面や町民のための施設という面があるため、皆さんの意見を吸い上げるような組織にしていきたい。

○ 町民夏祭りへの協力について

【町長】夏に 2,000~3,000 人規模で町民夏まつりを実施する。久しぶりの大きなイベントとなるため、様々な形でご協力いただくとともに、ぜひご参加をお願いしたい。